

【河内中学校教職員の決意表明】

不祥事は絶対に許しません。
自覚ある行動に努めます。

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立河内中学校

作成責任者 校長 三谷 晶子

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の服務規律の確立	○教育公務員の自覚を高め不祥事を起こさせないために、服務研修は、計画的な研修を実施している。教職員の意識は高いが、心の隙が生じないよう、チェックシート等を定期的実施する必要がある。	○チェックシートを活用し、自らの意識を点検し、常に教育公務員としての自覚をしている。 ○服務研修の方法や内容等を見直し、不祥事を自分のこととして考えている。	○「河内中学校の決意表明」を名札に入れ常時携帯する。 ○チェックシートを定期的実施する。 ○服務研修の中で、主任が起案したものを年3回実施し、ロールプレイや標語作りなど自らのこととして自覚できる工夫をする。	○服務研修の際、読み合わせをする。 ○チェックシートを年2回(12月、3月)実施する。 ○不祥事防止委員会の際、研修計画を主任が起案し検討する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○不祥事防止委員会を毎月開催しているが、時間の関係で研修内容を十分吟味する時間が不足している。 ○お互い楽しく勤務できる職場環境であるが、さらに教職員同士で気になる部分を指摘し合える雰囲気を醸成していく必要がある。	○不祥事防止委員会で、効果的な研修内容について検討し、主体的な研修ができる。 ○教職員同士がコミュニケーションを図る中で、さらに、お互いの悩みを相談したり、気づきを言えたりできる。	○研修についての起案での吟味を深め、短時間でも工夫された研修を実施できるようにする。 ○業務改善、分掌の見直し等を行い、個々の教職員の業務の軽減、均等化を図る。 ○親睦行事なども時間を確保して行い、さらに信頼関係を構築する。	○年間3回(5・11・1月)、全教職員を対象にした校長・教頭による全教職員面談を実施する。 ○年間2回(7・12月)、校務運営会議の際、業務改善についての熟議を実施する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「アンケート」を実施しているが、さらに早期発見に努めなければならない。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知「アンケート」の実施により、早期発見・防止に努めている。	○学校だより及びHPなどで保護者等に周知するとともに、全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○スクールカウンセラー面談を全生徒に実施する。	○年間3回(6・11・2月)のアンケートと全員面談を実施。スクールカウンセラーによる全員面談を実施する。